

令和6年度第2回 大学等の質保証人材育成セミナー  
「評価疲れのメカニズムと解消に向けた Tips」

大学改革支援・学位授与機構

## 1. はじめに

当機構では学位授与や評価に関する事業を行うだけでなく、それらの調査研究も実施していることから「教育の質」に関する「知」や「世界的ネットワーク」など様々な資産が蓄積されています。これらの資産は当機構の事業においても活用しているわけですが、当然のことながら我が国すべての高等教育機関のみならずにも活用してもらえるような知見と考えております。今回は長年の評価研究や評価事業によって蓄積した「評価疲れ」のメカニズムとその解消に向けた知見を提供させていただきます。

我が国の高等教育においては、さまざまな評価（自己評価、外部評価、第三者評価等）活動を行っていると考えられます。「評価」という言葉はかなり多義的ですが、今回のセミナーにおいては、大学評価、とくにマネジメントのために不可欠な現状把握のための評価作業にターゲットを置きます（各種法令で求められている評価も含まれます）。

当セミナーでは、各高等教育機関のみならずにも自組織の「評価疲れ」発生メカニズムを考えるためのヒント、それを解消の方向に向かうための知見を提供したいと考えています。オンラインでも配信する第1部では、実際に当機構で開発した評価疲れの測定尺度を用いてみなさまの「評価疲れ」度合いを分野別に把握いただきます。その上で、それをどのように解消すればよいのか、ということについて評価現場、マネジメントの知見からヒント、Tipsとなるような知識・技能の提供を行う予定です。

第2部の対面の演習編では、手と口を動かしてもらうことで、前半の講義編で学んだことを実践いただき知識・技能の定着を図ると同時に、他大学の方とのネットワーク形成も進めていただくことができるように企画いたしました。

「大学等の質保証人材育成セミナー」では当機構を中心とした「教育の質」に関する知識循環を構成するべく学術面のみでなく実際に現場で使っていただける実践性も加味した上で、大学経営全般の質向上を想定したテーマを今後も設定させていただきます。

## 2. 今回のセミナーの達成目標

- ・ 「評価疲れ」発生のメカニズムと対処法について概略を学ぶことで、自組織において「疲れない」評価作業を進めるための基本的な考え方について把握することができる（講義編）。
- ・ ロジックモデル等の考え方を学ぶ演習や他の参加者との意見交換・情報交換を通して「疲れない」評価活動のために最低限必要な考え方を学ぶことで、自大学の評価活動を効率的・効果的に進めるためのアイデアを整理することができる（演習編）。

### 3. 期日・会場

令和6年12月13日（金）13：00－16：50

大学改革支援・学位授与機構 竹橋オフィス 1112 会議室

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 11 階

東京メトロ半蔵門線 / 都営三田線・新宿線神保町駅 出口 A8、A9 徒歩 6 分

東京メトロ東西線竹橋駅 出口 1b 徒歩 5 分

### 4. 対象と募集人数

高等教育機関における評価担当者等を対象とします（評価担当者を指揮・監督するお立場の方も含みます）。学内で評価を仕掛ける方（認証評価、法人評価の受審を担当される方、自己点検評価を学内のみなさんに実施いただく方）だけでなく、評価（現状把握）を活用した学内の各種プロジェクトの進行管理をされる方、IR 担当者、内部質保証担当者の方などを想定した内容となっています。組織評価寄りの内容となりますので、教員評価など個人向け評価は直接の対象としません。

なお、当機構の実施する各種評価に特化した内容ではなく、一般的な内容で進めさせていただきますので、受審されている（受審を予定している）評価機関を問わずに参加いただけます。

- ・ 第1部（講義編）につきましては、オンラインでの受講となりますので、特段、募集人数の上限は定めておりません。
- ・ 第2部（演習編）は、対面形式となり、20 名を上限とします。申し込み開始から1週間は、1 大学から1名の申し込みとさせていただきます。また、第2部参加者の方のみ当機構・竹橋オフィスで第1部を受講いただきます。
- ・ オンライン参加、対面参加問わず参加費は無料となります。また、いずれもフォーム等を用いたリアルタイムオンライン調査（ワーク）にご参加いただくこととなります（報告書等で参加いただいたワークの実施結果は個人が特定されない形で公表させていただく場合もあります）。

### 5. プログラム

12：45 開場予定

13：00－13：05 開会挨拶（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部長 戸田山 和久）

< 第1部（講義編：オンライン配信あり） >

13：05－13：40 「評価疲れのメカニズムと測定尺度の開発」

渋井 進（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

市村 賢士郎（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 准教授）

大学改革支援・学位授与機構では、機構長裁量経費等を利用して「評価疲れ」のメカニズムの解明と測定尺度の開発を行ってきました。今年3月にも成果の一部を報告させていただきましたが、今回、測定尺度の簡素化・普遍化というリニューアルを行ないました。今回は、参加者のみなさまにもオンラインで「評価疲れ」度合い測定を実際に体験いただきつ

つ、「評価疲れ」のメカニズムについて「不信感、不透明感、負担感」という 3 つのキーワードで解説していきます。

### 13：40－14：20 「評価疲れを解消する－その処方箋となる考え方と Tips－」

畠田 敏行（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

光田 好孝（大学改革支援・学位授与機構 研究開発部 教授）

内容：前半で把握した「評価疲れ」をどのように解消するか、ということについて考え方と Tips を提供します。文部科学省などで挙げている\*「よい評価」のための 3 要素は、評価疲れの 3 要素と裏表の関係にあり、「不信感」払拭のためには「非排除・双方向的 (Inclusive and Interactive)」な評価を、「不透明感」解消のためには「明示的 (Evincive)」な評価を、「負担感」軽減のためには、「支援的 (Supportive)」な評価を行えばよいわけです。

具体的に現場でどのように「評価疲れ」軽減を考えればよいのか、ということについて、報告者らが長らく評価現場で、マネジメントの現場で積み上げてきた「考え方」を示す一方で、現場で使える評価の知識・技能の Tips（計画の進行管理手法、研究評価の基本）についてもコンパクトに提供していきます。

\*「研究開発評価研修プログラム」テキスト

「文部科学省の「研究開発評価研修プログラム教材」の改定に係る調査・分析」報告書より

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kagaku/hyouka/1416679.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/hyouka/1416679.htm)

### 14：25－14：40 質疑応答（質問記入タイム 14：20－14：25）

- ・ 質疑応答につきましては、現地参加の方も含めオンラインで質問等を入力いただく方式で計画中です。
- ・ 質問内容は画面上で共有し読み上げますので、個人名等が入らないようご注意ください。
- ・ 質問が多かった場合には、先着順の回答となりますので、ご承知おきください（第 1 回目では、多くのご質問に回答できず、申し訳ありませんでした）。
- ・ 最大延長 14：50 となります。

## <第 2 部（演習編：対面のみ）>

### 14：50－15：25 演習 1 「計画が進まない要因、指標の妥当性を考える」（個人ワーク）

- ・ 架空の大学の計画をもとに、計画が進まない要因の発見方法（ロジックモデル）や指標設定の妥当性確認の方法についてコンパクトに演習を行います。
- ・ ご自身の大学において計画の分析、指標の確認を行うことができる必要最低限の知識と技術の習得を目指します。

### 15：25－16：10 演習 2 前編 「ワークシートを用いた評価活動のボトルネック解消」（個人ワーク＋グループワーク）

- ・ 最初に 10 分程度、ワークシートで評価疲れを招く「学内での評価作業での課題」を整理していただきます。
- ・ その後、こちらで指定した班（4 人程度の班を想定）に分かれていただき、課題の共有と解

決策に関する相互助言を行ってまいります。

- ・ タイムキープのため機構教職員が班に入ることもあります。

16：15－16：45 演習2後編：全体共有＋講師陣からのコメント

- ・ 班ごとのグループワークで見えてきた評価の課題について全体共有を図りつつ、講師陣から評価疲れ解消に向けた学術的または実践的なコメントをさせていただきます。

16：45－16：50 アンケート記入タイム

- ・ アンケート（オンライン）へのご記入をお願いします（完了した方よりお帰りいただけます）。

## 6. 申し込み方法と期間

- ・ 申し込みは、令和6年11月19日（火）13時から開始します。当機構「大学質保証ポータル」の案内ページにお進みください。  
<https://niadqe.jp/event/6871/>
- ・ 対面参加希望の方は、班分けの都合もありますので、12月6日（金）17時までにお申し込みください（満席になった場合には、その時点で締め切らせていただきます）。
- ・ オンラインのみでの参加の方は、12月10日（火）の17時まで受け付けています。
- ・ 申し込みをされますと確認メールがお手元に届きますのでご確認ください。

## 7. ご案内

- ・ 資料は、12月11日（水）15時までに電子的に配付します（現地においても原則、紙資料の配付はありません。事前のダウンロード等をお願いいたします）。
- ・ オンライン会議の接続先の URL、（対面参加の方の）当日の入館方法については資料配付の際に合わせてご案内させていただきます。
- ・ 申し込みを行ったにもかかわらず、これらの日付を過ぎても当機構から連絡がない場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください（迷惑メールフォルダ等に振り分けられていることもありますので、ご連絡の前にご確認ください）。
- ・ 対面参加の方でご欠席になる場合には、班編制の都合もありますので、下記、問い合わせ先までメールでご連絡ください。
- ・ 広報や報告書作成のために会場の写真等を撮影し、当機構「大学質保証ポータル」等で公表させていただきますので、あらかじめご承知おきください。人物が一部写り込む場合は個人が特定できないよう留意いたします。
- ・ 第1部については、当日参加いただけない方への情報提供も兼ねて「大学質保証ポータル」での公開を計画しています（詳細決まりましたらご案内いたします）。
- ・ 第2部（対面・演習編）では自由な意見交換等を行っていただくため録音、撮影はご遠慮ください（主催者側で記録用に録音等を行う場合はありますが研修事業（成果報告等を含む）以外での利用はいたしません）。
- ・ なお、第2部では、お名前、ご所属、職位のみを掲載した名簿（班分け表）をお配りします。

## 8. 問い合わせ先

大学改革支援・学位授与機構 評価事業部 評価企画課 企画第2係

E-mail : [hyokikaku2@niad.ac.jp](mailto:hyokikaku2@niad.ac.jp)